

～ サポーターのこころを結ぶ ～

認知症サポーターキャラバン情報紙

VOL.3



北方校区に地域を支えるボランティア誕生！！

2010. March Vol.3 Contents

- トヨタカローラ博多株式会社の取り組み …… P2
- 北方校区社会福祉協議会の取り組み …… P3
- 「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカー …… P4
- 認知症サポーター養成講座受講状況等 …… P4



北 九 州 市
北九州市社会福祉協議会

全社員が地域貢献できること!!

—トヨタカローラ博多株式会社—

トヨタカローラ博多株式会社（久恒兼孝社長）は、福岡県内に21店舗、430名の社員がいます。北九州市内の店舗は8店舗、これまでに117名の社員が講座を受講し、認知症サポーターとして、日々勤務の中でお客様と接しています。「全社員が社会貢献できることをする」という理念のもと、古切手・プルタブ・牛乳パックの回収などにも取り組んでおり、地域貢献へ力を入れていることが会社の特色でもあります。

この地域貢献の取り組みがきっかけとなり、認知症サポーター養成講座の開催にいたりました。実際、店舗に来店されたご家族に認知症の人がいたことがあり、対応に困ったことがありました。講座を受講することによって、その場の状況に応じた対応を学び、備えるとともに、認知症の人やその家族のみなさまが安心して来店できるように、「認知症サポーター養成講座」を社員が受講しました。

受講した社員からは、「講座で学んだことを今後の仕事の中で活かしていきたいと思った」、「関心を持ってたし、冷静に対応が出来そうだ」、「仕事上で、自分自身の生活で役立つ講座だった」などという声があがっています。



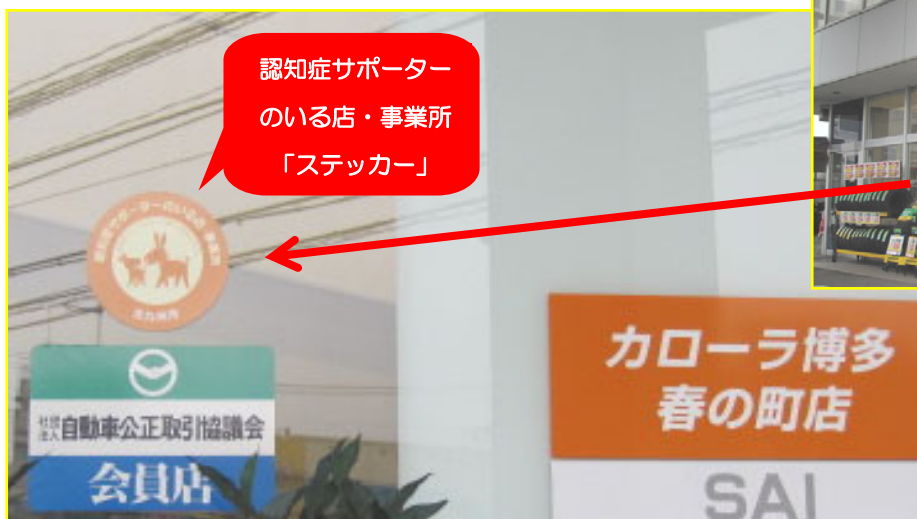
則松店での受講風景

■ 仕事に活かされる養成講座

認知症サポーターとしての活動は、次のように仕事に活かしています。

- ① 受講者全社員の名刺に、「認知症サポーター」を加える
- ② 「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカーを店舗に貼る
- ③ 来店されたお客様への接客・対応

今後は、新規採用者への認知症サポーター養成講座を開催していき、企業全体が、より一体となって、認知症への理解を深め、広めるとともに、次世代につなげていきます。



※各店舗に貼っている認知症サポーターのいる店・事業所「ステッカー」の詳細は4ページへ!!

北方校区社会福祉協議会

～住民主導の福祉の風土づくり～

北方校区は、国立病院や福祉施設、陸上自衛隊小倉駐屯地、小倉競馬場など様々な施設・機関があり、小倉南区の中心ともいえる地域です。

22町内から成り、総世帯数は7,042世帯、高齢化率は、18.1%、人口は11,664人になります。

北方校区社協（岩本高松会長）では、民生委員・福祉協力員の素晴らしいチームワークによって結成された「あけぼの会」（一徳育子会長）により、平成7年度より地域住民で支え合うしくみ「ふれあいネットワーク事業」に取り組んでいます。

■ 小地域福祉活動者の育成

特に近年では、福祉協力員の資質向上のため、数々の勉強会やリフレッシュを兼ねた日帰りバス研修などを実施し、活動者の人材育成を図っています。また、昨年度には、「地域支援ボランティア養成講座」を開催し、多くの住民に校区社協活動を体験してもらうことで、新たな人材の発掘にも取り組んでいます。このような活動を展開する中、北方校区社協が、認知症に関する事業へ力を入れるキッカケとなったのは、平成19年10月に校区社協で開催した「認知症サポーター養成講座」でした。受講後、多くの住民から「認知症について初めて知り、とても勉強になっ



た。早くこの講座を受講すれば良かった」や、「家族に認知症の人がいるので、みんなに正しく理解してもらえると嬉しい」などの関心が寄せられました。

■ 地域で支える体制づくり

そこで、校区社協では、徘徊をしている人を見つけたときに地域で連絡を取り合い、認知症の人とその家族を見守り、認知症の人を校区の行事である「北方さくら公園まつり」や「敬老会」などに参加できる体制づくりを進めました。

さらに、講座を受けた人は、認知症の人やその家族へ積極的に関わることを意識するようになり、日頃の見守り活動において、認知症の人と接する時や敬老会などの行事で介添えする際などに、相手に視線を合わせて、やさしい口調で話すなどの受講の成果が表れています。

今後も北方校区では、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちの実現を目指して、更なる小地域福祉活動の発展へとつなげていきます。



「認知症になっても安心して暮らせるまちを国指して！」

北方校区社協会長 岩本高松



◆ 福祉にやさしいお店・事業所

「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカー

この「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカーは、認知症サポーターキャラバン事務局が実施する「認知症サポーター養成講座」受講店・事業所等に貼っていただき、認知症にやさしい街づくりに役立てていただいています。

あなたのお店や事業所でも、企業の社会貢献や社員教育の一環として、受講されてはいかがでしょうか。

＜お問い合わせ先＞

下記、「認知症サポーターキャラバン事務局」まで



北九州市の認知症サポーター 19,446人 (H22. 3月末現在)

最近の「認知症サポーター養成講座」受講団体

- 特別養護老人ホーム 豊寿園
- 社会福祉法人 恵康会 ひかりの丘
- 門司港栄町商店街 振興組合
- 周望学舎シルバーバンク
- 朽網大石町自治会高齢者クラブ「一笑一若の会」
- 校(地)区社会福祉協議会 藤ノ木(若松)、中尾(八幡西)、大谷第二、東戸畑(戸畑)



認知症サポーター養成講座を広める「社会福祉協議会」

社会福祉協議会は、
「みんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくり」
を目指し、地域福祉の理解を広めています。

高齢者、障害のある人、子ども、地域で暮らしている一人ひとりのだれもが、住み慣れたまちで穏やかに暮らしていくためには、日常生活上の問題解決に向けて動き出せるよう、同じ地域に暮らす者として共感し、さまざまな問題や課題を分かち合う地域づくりを行うことが必要です。

そのために、北九州市社会福祉協議会は、地域福祉に対する理解を深めるとともに、一人でも多くの市民が、福祉に関心を高めることができる取り組みの一つとして、北九州市より「認知症サポーターキャラバン事業」を受託し、福祉の風土づくりを進めています。

この情報紙は、認知症サポーターの活動や活動機会の紹介を主な目的としております。
活動事例等の情報がありましたら、ぜひ、お寄せください!!

北九州市認知症サポーターキャラバン事務局

(運営：社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会)

〒804-0067 北九州市 戸畑区 汐井町1番6号 ウェルとばた8F
担当：福祉部 地域福祉課 TEL. 093-873-1296 FAX. 093-873-1351